

京都嵯峨

KYOTO SAGA

芸術大学

UNIVERSITY OF ARTS

広報

PUBLIC RELATIONS

VOL.8

Contribution

新しい学舎に新しい仲間たちを迎えて

京都嵯峨芸術大学学長 三好郁朗

JUNE 2004



News

森原キャンパス「有響館」開設

平成16年度予算編成 基本方針と資金収支予算

平成16年度新体制 執行部体制 / 教学体制 / 附属機構、研究機関等体制 / 事務局人事 / 名誉教授の称号授与 / 昇任人事 / 新規採用人事

新任教職員紹介

平成16年度入学式

平成15年度入試結果

Topics

教員の活躍

加藤教授「京都美術文化賞」受賞

在学生の活躍

幼稚園の砂場屋根をデザイン

卒業生の活躍

ポローニャ国際絵本原画展に入選

行事

大覚寺華道祭 / 新入生歓迎祭 /

下宿生交流会

附属博物館

講演会とワークショップを開催



Information

入試関連情報

特別講座

公募展のおしらせ

YOUバックアートコンペ2004

生涯学習講座

小学生夏休み講座受講生を募集

アートスペース嵯峨スケジュール

専任教員展覧会情報



KYOTO SAGA
UNIVERSITY OF ARTS

学園創立30周年を期して開設された芸術学部も、いよいよ今年が完成年度となりました。162名の新入生(3年次編入学を含む)を迎え、これでようやく全学年が出揃ったわけです。短期大学部335名(専攻科を含む)の新しい仲間とともに、すべての学生諸君が充実した毎日を送ってくれるよう、心から祈っています。

短期大学と四年制の大学とでは、教育目的も方法もおのずから異なってくるでしょう。

本学にあってはしかし、芸術教育を通じてしっかりと自分を見つめ、堂々と自己表現のできる若者を育てたい、現代の美を求める作

イメージによってはじめて把握できる思考や感情の表象です。そして、その歴史的蓄積が芸術文化だとすれば、それは個人の感性からだけ生み出されるものでなく、ひとりひとりの人間がもつ能力や技術に加えて、社会的経済的状況の影響から生み出されるものと言わねばなりません。いかなる純粋絵画といえども、時代と文化の文脈を逃れることはできないのです。ある芸術作品がどのような時代に、どのような文化状況、どのような社会構造のもとで、どのような技術と経済的基盤から生み出されたか、自身の芸術体験を通じてどのように社会に貢献できるものか、そうしたことを広く、かつ深く考えることこそが、「大学」

新しい学舎に新しい仲間たちを迎えて

三好郁朗 ●京都嵯峨芸術大学 学長

業を通じて、精神的、感性的により豊かな社会の実現に貢献できる人材を養成したい、そういう願いはどちらの課程にも共通したものです。芸術学部と短期大学部とは、したがって、京都嵯峨芸術大学のいわば車の両輪となつて、私たちが求める理想的芸術教育の実現に向け、あらゆる面で協働して行かねばなりません。二つの組織が同じキャンパスにあるという環境を活かし、講義や実習の場はもちろんのこと、キャンパス・ライフの全域にわたつて、密接な交流をはかってもらいたいと思います。

芸術とは、などと言うと、大上段に振りかぶるようですが、少なくとも私にとっての芸術は、イメージによる世界の解釈であり、記録であり、

で芸術を学ぶ者にとって必須の課題ではないでしょうか。

芸術教育をそうした社会的広がりを持ったものへと実践的に展開していくことは、本学園が嵯峨美術短期大学の時代から変わらずもちつづけている目標でもあります。

さて、学園にとって今春最大のできごとは、なんといっても新学舎の完成です。

これまでの本部キャンパスからほんの数分、桂川の堤防道路沿いに「^{ふしはら}森原キャンパス」が開設され、地上4階、地下1階の瀟洒なガラス張りの建物が姿を現しました。3、4階の教室は5月の連休明けから使用を開始しています。1階と地階には夏期休暇を使って附属図書館を移転させます。2階は、これが表

道路からまっすぐ入るメインフロアなのですが、「学生情報フロア」と呼び、学生諸君のための「キャリア支援センター」を置いて就職や進路の相談にのるほか、各種の資格取得や進路についての情報を提供します。また、パソコンを並べて電子空間から自由に情報を収集したり、相互に情報の交換ができる空間になる予定です。さらに、フロア全体が容易にフリースペース化され、イベントなどに使用できる工夫もされています。

嵐山の景勝を見晴らす広いロビー風の廊下や吹き抜けがあって、明るく開放的なこの建物を「有響館^{うきょうかん}」と名づけました。弘法大師の書物「声字実相義」にある「五大皆有響」という一句から採りました。「五大」すなわちこの宇宙にあるすべてのものが、それぞれに「響きを有している」。この2文字を戴くことで、本学が建学の理念としてきた「弘法大師の思想と実践」への敬慕を示すとともに、新しい建物が本学から地域社会へ、さらには世界へと、芸術文化のメッセージを発していくインターフェースになってほしい、そういう願いをこめたつもりです。

建学の理念と言えば、先日の理事会において、30有余年にわたる本学園の教育実践が「大覚寺学園・教育憲章」として成文化されました。全文はWebサイトにも掲載されていますので、ぜひご覧になってください。

そこに、本学の芸術教育が目指すところとして「やわらかな感性、ゆたかな美意識、かけがえのない自分」というモットーが掲げられています。本学で過ごす時間を通じて、ぜひ、やわらかな感性をはぐくみ、豊かな美意識をそだてあげ、そしてなによりも、かけがえのない自分の発見に努めてもらいたい。自分の中の無限のエネルギーと可能性を信じつつ、周



囲の環境を知り、社会と文化について学び、さまざまな創造的行為を通じて社会に貢献できる道を探ってほしいのです。

みなさんのなかには当然、専門的な造形作家としての将来を思い描いている人も多いでしょうが、そうした道もけって個人的営みに終わるものでなく、社会全体の営みと強く結ばれていきます。まして卒業後、企業等で活躍することを考えるなら、大学在学中からしっかりとした社会意識、時代意識を持って日々を過ごしてもらいたいと思うのです。

そうした意味でも、実習室で絵筆をとることだけが勉強と考えず、いろいろと幅広く学んでほしい。卒業後に役立つであろう資格をとるもよし、京都を歩き回って恵まれた自然や豊かな文化財に親しむもよし、ボランティア活動からクラブ活動まで、ものごとに積極的に取り組む姿勢さえ失わなければ、学生生活を充実させる機会は無限に広がっていくことでしょう。学園としても全力をあげて諸君の活動を支援していくつもりです。

萩原キャンパス「有響館」開設



本部キャンパスに不足していた“学生のための憩いのスペース”が中心となる施設「有響館」を、山紫水明と謳われた嵐山・桂川を正面に据えた素晴らしい場所に開設することができました。

5月10日(月)には、4階大教室で「開館命名式、尊像開眼法要」を、坂口博之理事長の導師により、執り行いました。大覚寺学園役員、関係教職員、学友会執行部(在学生)参列のもと、読経、坂口理事長ならびに三好郁郎学長の挨拶と続き、厳粛に儀式を終えました。

5月の大型連休明けから講義授業で使用し、2階学生情報フロアに開設したキャリア支援センターも就職指導等の執務にかかっています。また、今夏には図書館を移設する計画です。

10月16日(土)に行う「開設記念式典」以降、地域に開かれたキャンパスとして、さまざまなイベント等を開催していく予定です。

B1F~1F 図書館(10月開館予定)



また、テーブル、イス、キャビネットは大半が移動可能になっており、フリースペースをつくることで各種イベントに対応できます。また、1Fに繋がる吹き抜けには作品展示用のフックを設けています。

3F 教室、ラウンジ



教室4部屋とラウンジ、教員準備室、水洗場があり、各教室にはビデオプロジェクター、書画カメラ(OHC)、DVD、VHS等の各種AV機器を装備しています。

4F 教室

大小、2つの教室があり、3Fと同様のAV機器を装備しています。大教室は、さらに3台のビデオプロジェクターと授

業風景を撮影できるリモコンカメラ、タッチパネル方式の操作パネルを備え、各種イベント等に対応できます。撮影した映像は隣の小教室、2F学生情報フロアでも視聴することができます。



その他

各フロア・教室で100M bpsの光回線インターネット接続が可能です。



2F キャリア支援センター、学生情報フロア



インターネット等を利用して情報検索を行なうパソコンを備える他、本部キャンパスと萩原キャンパスを結び、休講・補講・教室変更情報や学生の呼び出しを表示する情報掲示板を備えています。

平成16年度予算編成

基本方針と資金収支予算

日本の大学における総在籍学生のうち、私立大学在籍者の割合は現在約8割といわれています。私立学校振興助成法に基づく私学助成は、経常費の10%程度でしかなく、ほとんどの私学は全面的に学生納付金に依存しているのが現状であり、少子化による18歳人口の激減は、私学経営に計り知れない痛手を与えています。加えて、国立大学の法人化、NPO法人・株式会社等による学校設法の法的枠組みの整備など、私立大学の経営環境は、急速に変化しています。

さらに、「事前規制から事後チェックへ」という文部科学省の政策転換によって第三者評価制度の義務化がもたらされる一方、工場等規制法に基づく都市部での大学等の新設の制限が解除されるに至りました。

そうした規制緩和により、大学教育の質的低下を危惧する声も高まっています。一方、「産学連携の推進」「大学の地域社会への貢献」「高等教育研究センターの設置」など、大学と社会を結び関係を拡大し、多様化する必要も強く訴えられています。また、学生に対しては「こころの問題」がクローズアップされ、研究・教育面では「21世紀COE(*1)プログラム」や「特色ある大学教育支援プログラム」の開発、「FD(*2)」「SD(*3)の実施」など、大学に求められる課題はますます多様性を増しています。

大覚寺学園にあっても、かねてから特色ある大学づくりを目指し、短期大学部においてはカリキュラムの改革や校舎等の建築、芸術学部にあってはさらなる教育環境充実を図るなど、学園発展のため、さまざまな課題に取り組んでいるところです。さらに、芸術学部の完成年度には、大学院の設置を計画するとともに、次の時代に向けて新たな学部改編の

構想、地域に開かれた大学として多角的な事業の実施、将来的な教育環境充実を考えた校舎の改修等、今後の課題も山積しています。

平成16年度からは、先の理事会で確認された「学園運営の基本方針ならびに将来計画」に基づく課題を、段階的かつ着実に推進していく必要があります。すなわち「建学の理念の再確認」「時代の要請に応える教育システムの構築」「教職員の能力向上」「財政基盤の安定」「地域への文化発信拠点形成」等を大きな柱として、現在推進中である「大学院構想」「短期大学部の再編」をはじめ、中・長期的には「旧校舎の全面改築」「新たな魅力ある学園づくり」等を当面の課題とし、実現に向けて学園構成員の理解と協力をお願いしていきます。

以上のことから、平成16年度においては、予算主義のさらなる徹底を図り、計画的に事業を推進するため、次のよう

な方針で予算措置を講じます。

- 1 学園運営の基本方針ならびに将来計画の推進と具現化
- 2 学生生活および教育環境の計画的整備(校舎建築、クラブBOX、改修等)
- 3 教育研究支援活動の推進(教員の研究充実、職員の資質向上)
- 4 地域への文化発信プロジェクトの推進(京都嵯峨野文化サロン、生涯学習講座、地域事業)
- 5 学内外のネットワーク関連業務の推進

(*1) COE = Center of Excellence
「研究拠点形成費補助」創造的人材育成のため国公私を通じた大学間の競争的環境を醸成し、世界最高水準の大学づくりを推進するプログラム。

(*2) FD = Faculty Development
教員個人または教員全体の教育力を改善する組織的な取り組み。

(*3) SD = Staff Development
大学職員の資質向上の取り組み。

平成16年度資金収支予算書

(単位 円)

収入の部		支出の部	
科目	16年度予算	科目	16年度予算
学生生徒等納付金収入	1,866,210,000	人件費支出	1,107,410,000
手数料収入	35,539,000	教育研究経費支出	388,319,000
寄付金収入	5,933,000	管理経費支出	194,968,000
補助金収入	147,138,000	借入金等利息支出	55,501,000
資産運用収入	566,000	借入金等返済支出	212,820,000
資産売却収入	0	施設関係支出	471,058,000
事業収入	13,209,000	設備関係支出	141,375,000
雑収入	27,323,000	資産運用支出	0
借入金等収入	100,000,000	その他の支出	46,895,000
前受金収入	680,125,000	[予備費]	20,000,000
その他の収入	111,783,000		
資金収入調整勘定	- 734,297,000	資金支出調整勘定	- 44,129,000
前年度繰越支払資金	2,352,727,495	次年度繰越支払資金	2,012,039,495
収入の部 合計	4,606,256,495	支出の部 合計	4,606,256,495

平成16年度新体制

執行部体制(運営協議会)

平成16年度の執行部が、下記のとおり編成されました。

学長	三好郁朗教授
芸術学部長	箱崎睦昌教授
短期大学部長	黒川彰夫教授
教務部長	森本武教授
学生部長	北村正巳助教授
入試部長	増田洋教授
企画広報室長	有岡保行教授
芸術文化研究所所長	大竹仁子教授
総務部長	午居隆平事務局長

教学体制

平成16年度教学体制の責任者が、下記のとおり決定しました。任期は2年です。

芸術学部造形学科長	平松國和教授
芸術学部観光デザイン学科長	桑田政美教授
短期大学部美術学科長	北村正巳助教授
短期大学部専攻科長	吉水絹代教授
講義部門長(共通)	大森正夫助教授
短期大学部美術・工芸部門長	北村正巳助教授
短期大学デザイン部門長	有岡保行教授

*平松造形学科長のみ任期1年。

附属機関、研究機関等体制

平成16年度の附属施設、研究機関の体制が下記のとおり決定しました。

附属図書館長	黒川彰夫教授
附属博物館長	山路興造客員教授
附属博物館長補佐	大竹仁子教授
芸術文化研究所所長	大竹仁子教授
観光デザイン研究センター長	真板昭夫教授

事務局人事(専任職員)

平成16年度の異動ならびに昇格人事が5月1日付で実施されました。

キャリア支援課長	神原滋(前附属施設課長)
キャリア支援課係長	新谷隆寿(前総務課係長)
企画広報課長	三宅一穂(前就職課長)
学術推進課長	三宅一穂(前就職課長)
学術推進課主任	田中連子(昇格/前企画広報課員)
学術推進課員	佐野恵子(前附属施設課員)
入試課主任	松本透(昇格)
教務課員	若林静江(前企画広報課員)

就職課は萩原キャンパス「有響館」に移設し、キャリア支援課と名称変更しました。

学術推進課の新設とともに、附属施設課は廃止となりました。

名誉教授の称号授与

平成16年3月31日に退職された泉地保雄先生(前:短期大学部洋画標準コース教授)に名誉教授の称号が授与されました。(平成16年4月1日付)

昇任人事

下記の先生が平成16年4月1日より教授に昇任されました。

短期大学部美術学科	柴田潤
-----------	-----

新規採用人事(専任教職員)

下記の教職員が平成16年4月1日付けにて着任されました。

短期大学部美術学科(洋画)	中井浩史助教授
短期大学部美術学科(講義部門)	石金直美講師
事務局総務課	土井準一

新規委嘱非常勤講師

[芸術学部]	[短期大学部]
大西治雄	宮原康
エリック・カール・シェンブレン	清水穰
東田幸治	椎原保
吹田哲二郎	康智善
アイナリス・ソフィア	河本万里子
末次エリザベート	末次エリザベート
遠藤裕美子	嘉戸浩
石垣雅也	伊藤壽浩
川辺比奈	抜水政人
ロバート・クロス	中村隆一
小島大輔	柿沼禎子
岩谷洋史	木ノ下智恵子

(敬称略)

新任教職員紹介

中井 浩史(短期大学部/洋画)



アートを志す学生にとって作品を制作するという行為は、個々の内実から発する表現への情熱に起因するものでしょう。表現を前に「自由」は開かれており、また「自由」であることの喜びとともにアーティストとしての苦闘もはじまります。作品制作をベースとした学生とのコミュニケーションを大切に、ひとりひとりの表現することへの情熱を励まし、サポートする存在であれればと思っています。

石金 直美(短期大学部/講義部門)



今年度より短期大学部講義部門の講師となりました。民間のカウンセリング施設の専任カウンセラーや他大学講師を経ての着任です。心理学、教育心理学等を担当します。また、臨床心理士として、非常勤カウンセラー2名とともに学生相談も受けもちます。芸術表現と心理学は、自らのこころとの対話を必要とするという点で浅からぬ御縁があります。学生諸君のこころをほどよく刺激する講義を心掛けたいと思っています。

土井 準一(事務局/総務課)



某芸術系大学を卒業後、主に企業のPR業務の企画制作を数年間生業としてきました。いわゆる「広告業界」の片隅に居た訳ですが、正直さほどクリエイティブな仕事をしている意識はありませんでした。しかし、本学に勤務することになって、アーティストやデザイナーが育っていくお手伝いをするというひょっとするといふまでで一番クリエイティブな仕事ができるのではないだろうかという期待を感じています。よろしくお願ひします。

大学報告

平成16年度入学式

京都嵯峨芸術大学ならびに京都嵯峨芸術大学短期大学の平成16年度入学式を4月5日(月)に執り行いました。

なお、入学者数は、下記のとおりに確定しています。

京都嵯峨芸術大学

造形学科1年入学者 / 94名

造形学科3年入学者 / 14名

観光デザイン学科1年入学者 / 47名

観光デザイン学科3年入学者 / 7名

京都嵯峨芸術大学短期大学部

美術学科1年入学者 / 284名

専攻科1年入学者 / 51名



大学報告

平成15年度入試結果

芸術学部	志願者	受験者数	合格者数	競争率
日本画	89	88	44	2.0
油画	61	60	47	1.3
版画	24	23	23	1.0
メディアアート	47	45	35	1.3
彫刻	12	12	12	1.0
観光デザイン	131	126	84	1.5
芸術学部合計	364	354	245	1.4
短期大学部	志願者	受験者数	合格者数	競争率
日本画	40	40	39	1.0
洋画	23	22	22	1.0
混合表現	19	17	17	1.0
陶芸	9	9	9	1.0
染織	33	33	33	1.0
グラフィックデザイン	85	84	78	1.1
イラストレーション	155	153	85	1.8
インテリアデザイン	34	34	34	1.0
生活デザイン	35	35	35	1.0
短期大学部合計	433	427	352	1.2
総合計	797	781	597	1.3

TOPICS

教員の活躍

加藤教授「京都美術文化賞」受賞

京都を基盤に活躍する美術作家へ贈られる「京都美術文化賞」(財団法人中信美術奨励基金)を、加藤明子教授(芸術学部造形学科)が受賞されました。

加藤教授は、点描による絵画を手掛けており、その創作活動を通して文化の向上に寄与したことが認められました。

2005年1月～3月に、中信御池ギャラリー(京都市中京区)において受賞記念展が予定されています。

行事

大覚寺華道祭で作品展示

4月15日(木)～17日(土)に大覚寺で執り行われた嵯峨御流の華道祭において、芸術学部・短期大学部ともに制作展からの選抜作品が、華道祭に彩りを添えました。



新入生歓迎祭

校友会主催による新入生歓迎祭として、4月17日(土)にコース対抗の球技大会が開催されました。快晴のもとに繰り広げられた熱戦のなか、バスケットボール部門とフットサル部門で観光デザイン学科4回生チームが、バレーボール部門とドッジボール部門でインテリアデザイン2回生チームが優勝しました。

下宿生交流会

新入生、特に下宿生にとっては、親元から離れた生活を始めることによる期待と不安の日々が想定されます。昨年度から心のケアを含めた学生同士の交流の場所づくりとしてイベントを開催しており、今年4月24日(土)に実施しました。

附属博物館

講演会とワークショップを開催

附属博物館と附属ギャラリー「アートスペース嵯峨」で同時開催中の第6回企画展『草原の国「モンゴル」の造形・異文化を知る』に関連して、日本・モンゴル民族博物館館長金津匡伸氏による講演会「モンゴル 草原の暮らしと文化」を4月20日(火)に行いました。また、5月15日(土)には京都市立嵐山小学校の児童を対象に、絵本の読み聞かせと馬頭琴の演奏を聞くワークショップを実施しました。

卒業生の活躍

ポロ・ニャ国際絵本原画展に入選

短期大学部専攻科修了生の関野愛子さんが、新人絵本作家の登竜門として世界的に有名なイタリア・ポロ・ニャ国際絵本原画展に入選されました。入選作品「とっくりさんの一日」は、7月から全国5ヶ所で開催される巡回展に出品されます。関西圏では、西宮市大谷記念美術館で8月21日(土)～9月26日(日)に開催されます。

■ 入試関連情報

各種入試関連イベントを下記のとおり実施します。この他、全国各地で開催される進学相談会等への参加を予定しています。

なお、2005年度入試について掲載している「大学案内2005年度版」をご希望の方は、入試課までご請求ください。

[入試課]

TEL 075 864 7878(直)

FAX 075 881 7133

nyush@kyoto-saga.ac.jp

オープンキャンパス		
6/20(日)	10:00~17:00	京都嵯峨芸術大学
8/1(日)~3(火)	10:00~17:00	京都嵯峨芸術大学
9/19(日)	10:00~17:00	京都嵯峨芸術大学
実技・小論文講習会		
9/23(木・祝)	受付12:30~12:50	第1セントラルビル9F (岡山)
	講習13:00~16:00	
	合評16:00~17:00	
入試直前実技・小論文講習会 / 相談会		
10/11(月・祝)	未定	京都嵯峨芸術大学
12/18(土)	未定	京都嵯峨芸術大学

■ 特別講座

今年度前期は、以下の特別講座を開講します。一般の方の聴講も歓迎です。お問合せ・お申込みは教務課まで。TEL 075 864 7867(直) kyomu@kyoto-saga.ac.jp

日時	講座名	講師	会場	対象
6/11(金) 16:00~	西表島エコツーリズムの 自然と伝統文化のデザイン	石垣金星氏	有響館(G401)	在学生、一般
6/15(火) 16:00~	「シンプルでクリエイティブなもの」 ~ 障害者施設からの発想 ~	福森伸氏	第6演習室	生活デザイン、専攻科、 一般(30名まで)
6/29(火) 16:00~	アートとデザイン 現在進行中のプロジェクトをめぐって	川俣正氏 加藤淳氏	有響館	在学生、一般(若干名)
7/6(火) 16:00~	観光PRとメディアの上手な使い方	住宅正人氏	AVホール	在学生、一般

公募展のおしらせ

YOUパックアートコンペ2004
「What do you pack?」

「ゆうパック」に作品を箱詰めして応募する、ユニークな公募展を開催します。

ゆうパックの中に新しい可能性を詰めると同時に、パックすることの意味をも問いかけます。どこへでも手軽に発送できるネットワークから現代の美意識や社会への視点が浮かび上がってくるでしょう。

グランプリには賞金50万円が贈られる他、多数の賞が用意されています。応募締切は10/20(木)。11月には附属ギャラリー「アートスペース嵯峨」で応募作品による展覧会も開催します。詳細は本学WEBサイト、ポスター、雑誌等でおしらせしています。

[YOUパック・アートコンペ係]

TEL 075 864 7860(直)

FAX 075 881 7133

artspace@kyoto-saga.ac.jp

生涯学習講座

小学生夏休み講座受講生を募集

昨年度に大変ご好評をいただいた小学生対象の生涯学習講座を、今年も夏休み期間中の8/6(金)~8(日)に開講します。

1・2年生は「環境恐竜(動物)をつくろう」、3・4年生は「葦粘土で嵯峨面をつくろう」、5・6年生は「葦の明かりをつくろう」の内容で、我々のまわりを美しくすることや物を大事にする心を学び表現します。

お申込みは、専用申込書または官製ハガキに、住所、連絡先、受講者の氏名・学年・学校名、保護者名等の必要事項をご記入の上、7/5(月)~15(木)の期間内にFAXまたは郵便にてお送りください。なお、定員に達し次第締め切らせていただきます。

詳細と専用申込書は本学のWEBサイトに掲載しています。

お問合せは生涯学習講座係まで。

TEL 075 864 7898(学術推進課)

FAX 075 882 7770

kikaku@kyoto-saga.ac.jp

■ 専任教員 展覧会情報

4/6~6/27	現代日本画の黒の世界	宮城県美術館(仙台)	箱崎睦昌 日本画
4/22~5/4	AZABU 10BAN ART TEXTILE	元麻布ギャラリー(東京)	吉水絹代、他 染織
4/27~5/9	橋本典子展 - 木の詩 -	ギャラリーすずき(京都)	渡邊典子 彫刻
5/4~5/10	京都彫刻協会展	京都府立文化芸術会館	平松國和 彫刻
5/8~5/14	グループM展	アーツスポット松戸(千葉)	宇野和幸 油画
5/15~5/23	第30回春季創画展	松坂屋美術館(名古屋)	土手朋英、他 日本画
5/19~5/24	日本画・京都からの表現 第7回NEXT	京都高島屋グランドホール	箱崎睦昌、林潤一 日本画
5/25~5/31	日本新工芸展	上野の森美術館(東京)	吉水絹代 染織
6/1~6/6	二科滋賀支部展	大津市歴史博物館(滋賀)	黒川彰夫 洋画
6/1~7/31	二科選抜作家ニューヨーク展	ファンデーションギャラリー、他(USA)	入佐美南子 油画、瀧澤賢福 混合表現
6/15~6/27	扇子祭展 V	ギャラリー賛(京都)	黒川彰夫 洋画
6/21~6/27	日本ジュエリーアート展	上野の森美術館(東京)	芦原祐子 染織
7/15~8/14	Pacific Rim Art Now Japan U S	WORKS, (U.S.A.)	宇野和幸 油画
7/17~7/30	奈良平宣子個展	ギャラリーギャラリー(京都)	奈良平宣子 生活デザイン
7/20~8/1	個展	voiceギャラリー(京都)	倉山裕昭 混合表現
7/30~9/5	日本画「京の今日」展	京都文化博物館	土手朋英、北村正己、他 日本画

会期、展覧会名、会場、出品者の順に記載。なお、内容は変更される場合がございますのでご了承ください。非常勤教職員情報は本学のWEBサイトをご覧ください。

アートスペース嵯峨スケジュール

4/1(木)~5/30(日)	「草原の国「モンゴル」の造形 - 異文化を知る -」
6/1(火)~6/4(金)	「油画4回生展」
6/8(火)~6/20(日)	「工房しょうぶ展 OUTS DER ART COLLECTION vol.12」
7/13(火)	「造形基礎展」
7/14(水)~7/17(土)	「専攻科ドローイング展」
7/20(火)~7/25(日)	「芸術学部日本画4回生展」

京都嵯峨芸術大学広報

第 8 号

2004年6月4日発行

編集 京都嵯峨芸術大学 企画広報室

発行 学校法人大覚寺学園 京都嵯峨芸術大学

〒616 8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地

TEL 075 864 7859

FAX 075 882 7770

http://www.kyoto-saga.ac.jp

info@kyoto-saga.ac.jp

印刷 株式会社 ダイコウテック